

鹿兒島軍記之内 (かこしまぐんきのうち)

肥豊 (ひほう) の境 さかへ) 二重 (ふたへ)

嶺 (どうけ) の賊壘 (ぞくるい) へ、川 (かハ)

路 (ぢ) 高島 (たかしま) の両少 (りやうせう)

将 (せう) 二手に分れ

て進撃 (しんげき) あり、

賊 (ぞく) 山上 (さんじやう) より大木 (たいぼく)

大石 (たいせき) を投 (なげ) おろし、

官軍 (くわんぐん) 進 (すす) み) かく

見えたるをり、

賊 (ぞく) 左右 (さいう) より討 (うつ)

て出 (いで)、双方 (そうほう) とも

大激戦 (たいげきせん) に及 (およ) ひ

たりといふ、